

概 要

1 福井県総人口 782,232 人（平成 28 年 10 月 1 日現在）

本県の総人口は、平成 28 年 10 月 1 日現在 782,232 人で、平成 27 年 10 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日までの 1 年間に 4,508 人減少した。

全国総人口は 12,693 万人（総務省「人口推計」平成 28 年 10 月 1 日現在概算値）で、本県人口の占める割合は 0.62% である。また、本県の面積は 4,190.49 k m²（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」28 年 10 月 1 日現在）で、人口密度は 1 k m² 当たり 186.7 人である。

人口は昭和 46 年以降増加傾向が続いていたが、平成 12 年以降は減少に転じ、平成 28 年は前年と比べ△0.57%と、17 年連続の減少となっている。

図 1 総人口・人口増減率の推移（昭和 30 年～平成 28 年）

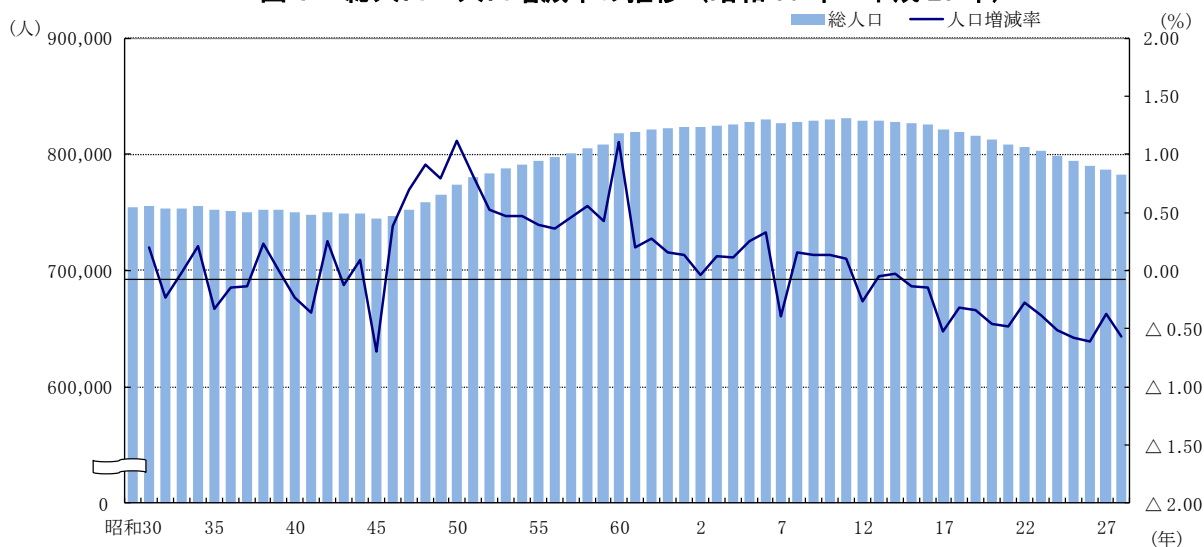


表 1 人口の推移（平成元年～平成 28 年）

（単位：人、%）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	...
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,448
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836

【※は国勢調査年】

（注）※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

(1) 自然動態（出生・死亡）

出生数は 6,125 人で、前年と比べ 290 人の減少となり、第 2 次ベビーブーム期の昭和 48 年以降減少傾向が続いている。

一方、死亡数は 9,038 人で、前年に比べ 127 人の増加となり、増加傾向が続いている。この結果、自然増減数は 2,913 人の減少となり、平成 16 年以降 13 年連続の減少となっている。

(2) 社会動態（転入・転出）

社会動態は、昭和 25 年以降ほぼ一貫して減少の傾向にあり、平成 13 年以降社会減少が続いている。平成 28 年の県外転入者は 12,298 人、県外転出者は 13,893 人となっており、この結果 1,595 人の社会減少となった。県外転入で最も多いのは大阪府の 1,074 人で、次いで石川県 993 人、愛知県 923 人となっている。また、県外転出で最も多いのは大阪府の 1,392 人で、次いで愛知県 1,369 人、石川県 1,360 人となっている。

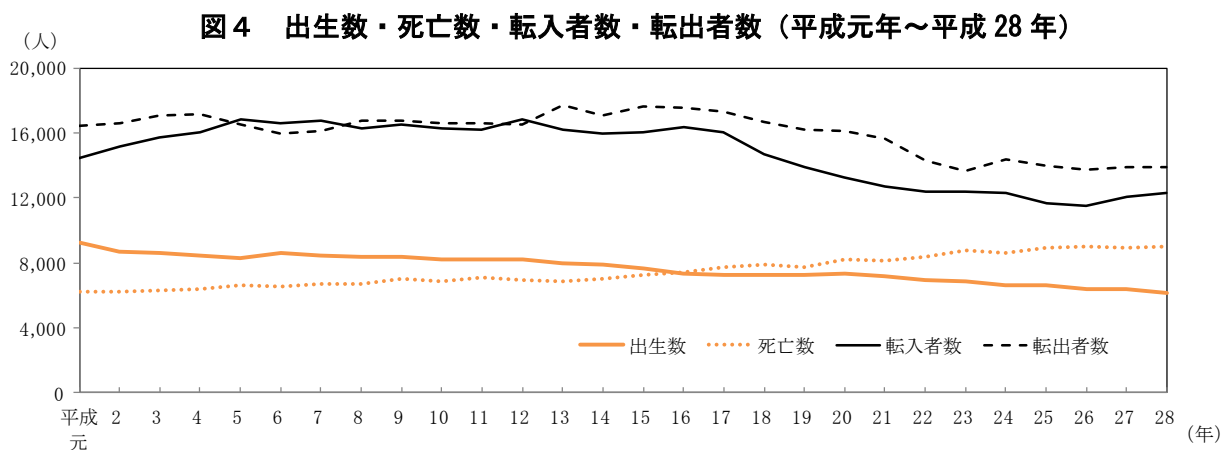
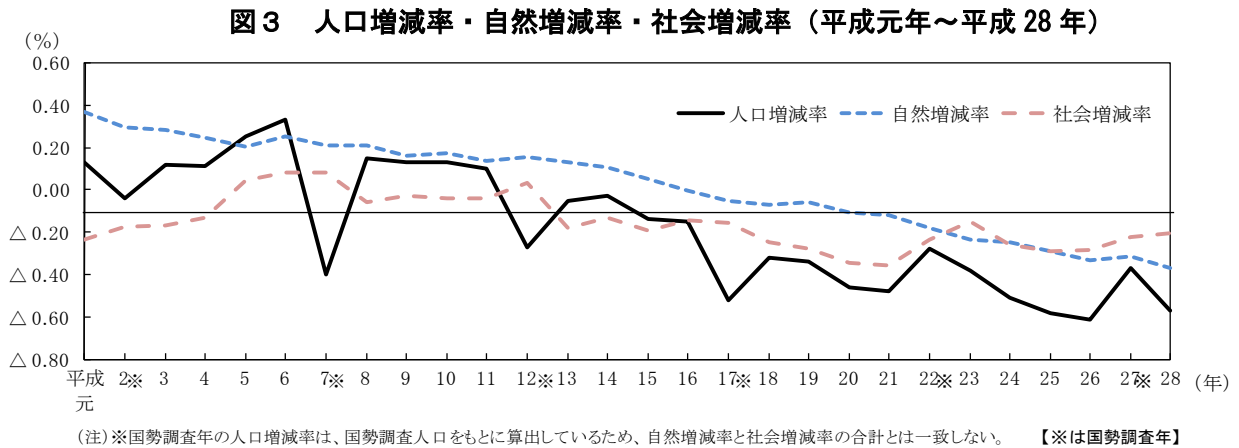
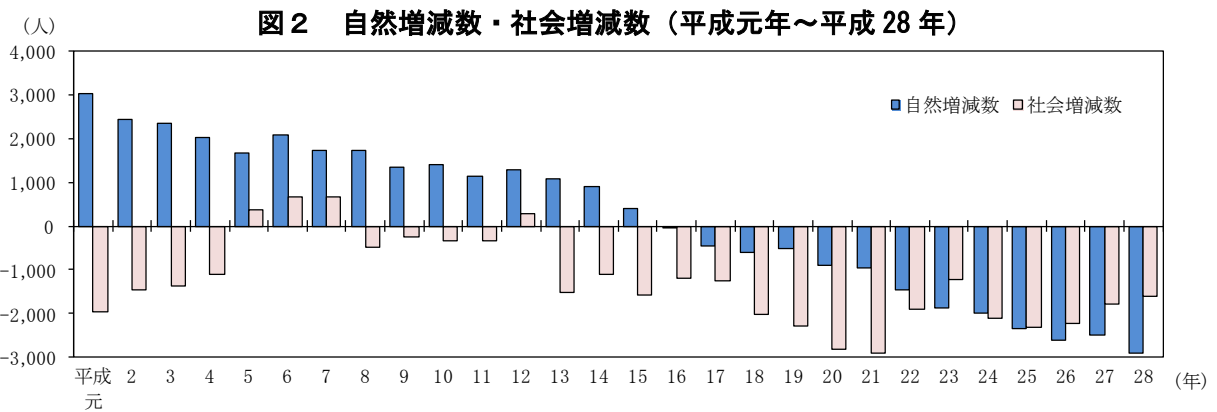


図5 総人口の推移（平成27年10月～平成28年10月）

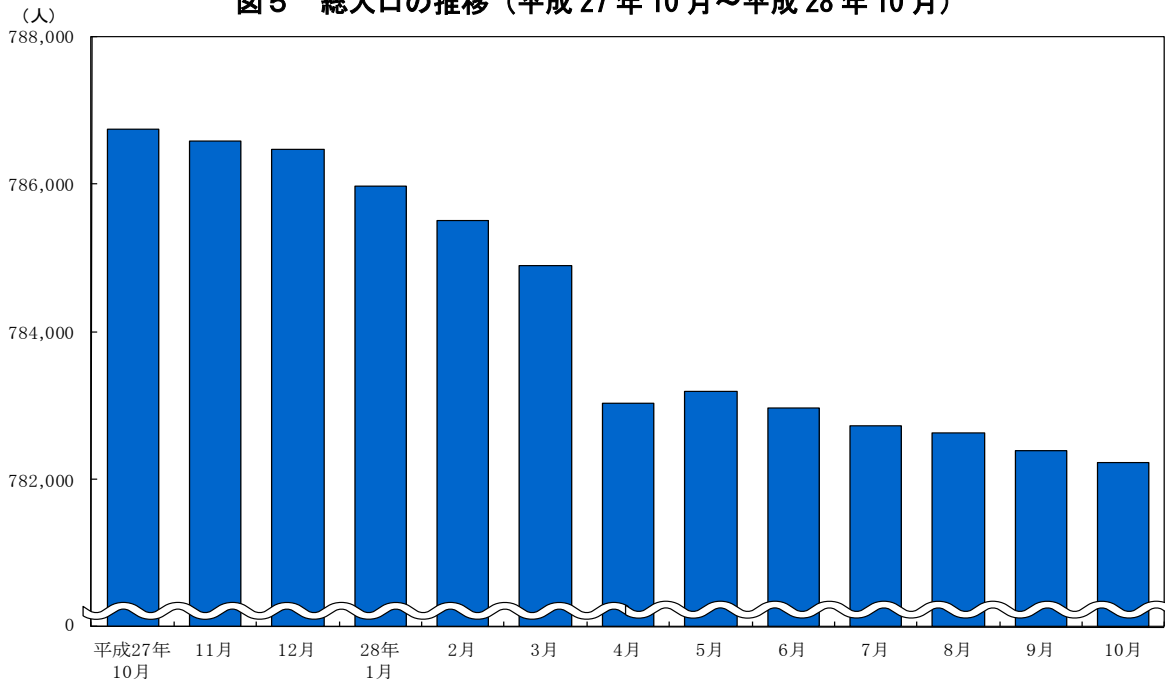


図6 自然増減数・社会増減数（平成27年10月～平成28年9月）

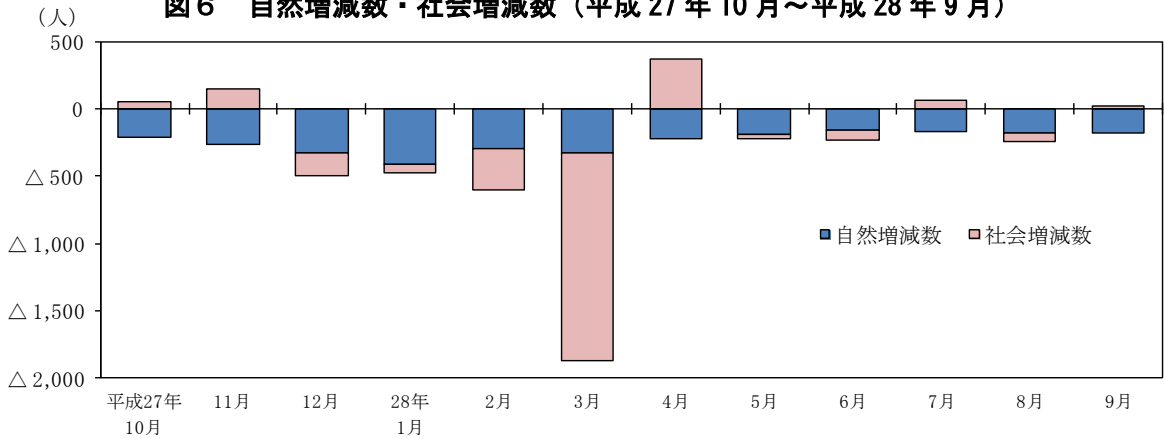


表2 月別人口・移動者数（平成27年10月～平成28年10月）

(単位:人)

月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
平成27年10月	786,740	△ 160	△ 213	534	747	53	969	916
11月	786,580	△ 109	△ 262	474	736	153	795	642
12月	786,471	△ 493	△ 322	440	762	△ 171	659	830
平成28年1月	785,978	△ 475	△ 416	506	922	△ 59	709	768
2月	785,503	△ 603	△ 297	514	811	△ 306	720	1,026
3月	784,900	△ 1,877	△ 328	482	810	△ 1,549	2,179	3,728
4月	783,023	160	△ 215	483	698	375	1,747	1,372
5月	783,183	△ 218	△ 188	559	747	△ 30	836	866
6月	782,965	△ 236	△ 160	528	688	△ 76	821	897
7月	782,729	△ 101	△ 162	511	673	61	934	873
8月	782,628	△ 240	△ 173	571	744	△ 67	992	1,059
9月	782,388	△ 156	△ 177	523	700	21	937	916
10月	782,232	-	-	-	-	-	-	-
総 数		△ 4,508	△ 2,913	6,125	9,038	△ 1,595	12,298	13,893

(注)「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

表3 5歳階級別移動者数（平成27年10月～平成28年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	6,125	3,160	2,965	23	12	11	768	384	384	751	412	339
5～9	—	—	—	1	1	0	363	185	178	385	200	185
10～14	—	—	—	4	3	1	162	80	82	179	95	84
15～19	—	—	—	6	5	1	671	327	344	888	492	396
20～24	—	—	—	12	9	3	2,408	1,366	1,042	3,233	1,662	1,571
25～29	—	—	—	20	14	6	2,428	1,265	1,163	2,614	1,322	1,292
30～34	—	—	—	22	17	5	1,685	851	834	1,823	911	912
35～39	—	—	—	23	16	7	1,094	585	509	1,175	602	573
40～44	—	—	—	45	27	18	833	509	324	854	509	345
45～49	—	—	—	67	49	18	594	387	207	604	396	208
50～54	—	—	—	103	75	28	387	274	113	406	263	143
55～59	—	—	—	190	132	58	276	180	96	296	208	88
60～64	—	—	—	291	195	96	201	131	70	195	122	73
65～69	—	—	—	535	367	168	168	103	65	173	106	67
70～74	—	—	—	643	434	209	90	46	44	84	47	37
75～79	—	—	—	896	582	314	49	28	21	65	26	39
80～84	—	—	—	1,487	844	643	59	16	43	66	20	46
85～89	—	—	—	2,034	1,012	1,022	46	13	33	68	12	56
90以上	—	—	—	2,636	729	1,907	16	1	15	34	7	27
総数	6,125	3,160	2,965	9,038	4,523	4,515	12,298	6,731	5,567	13,893	7,412	6,481

図7-1 5歳階級別県外転入者数

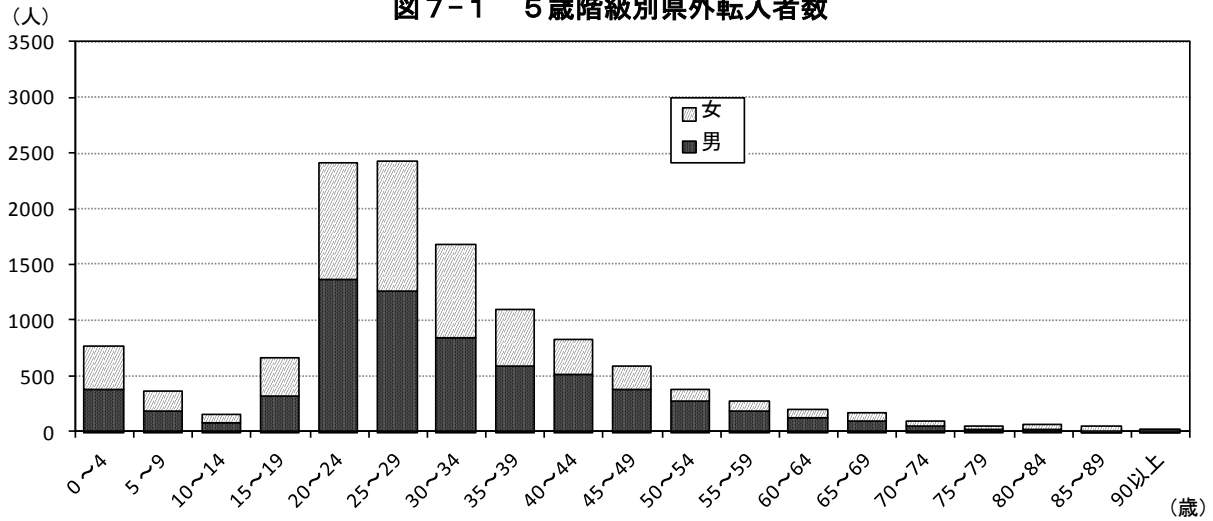


図7-2 5歳階級別県外転出者数

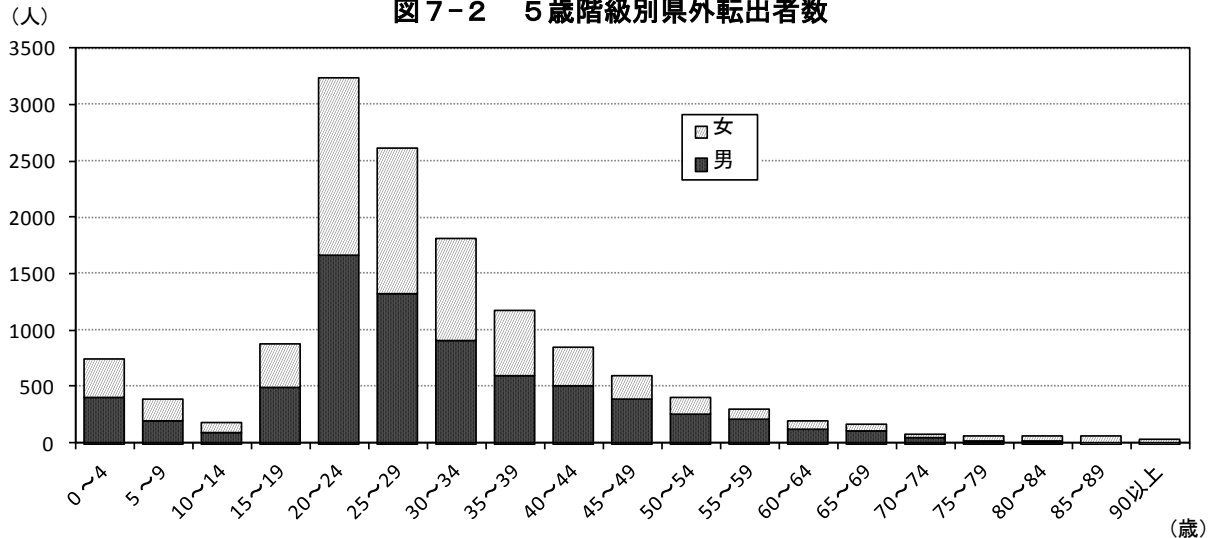
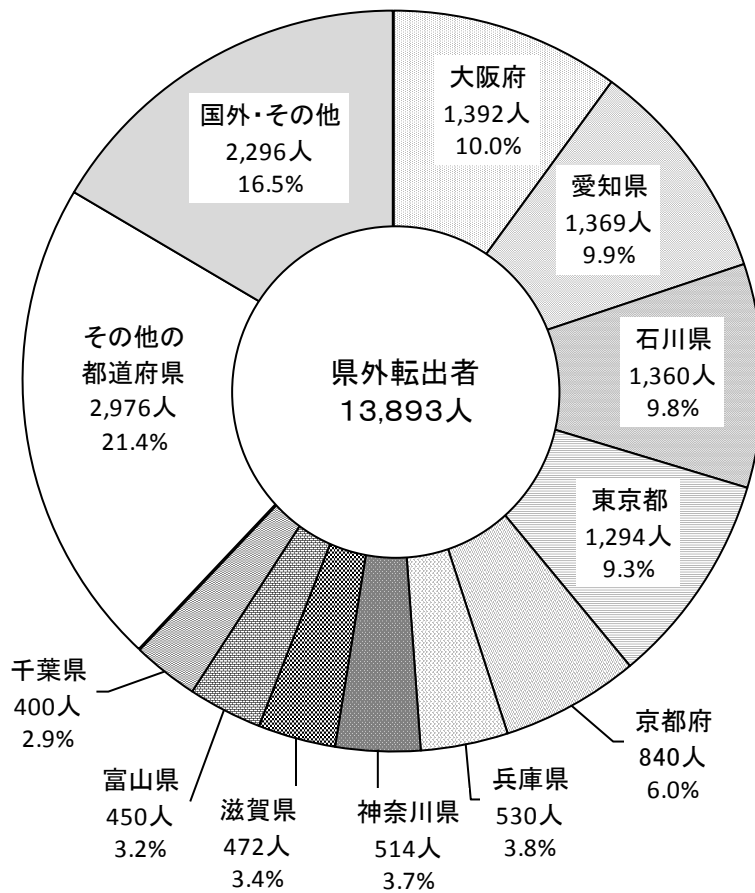
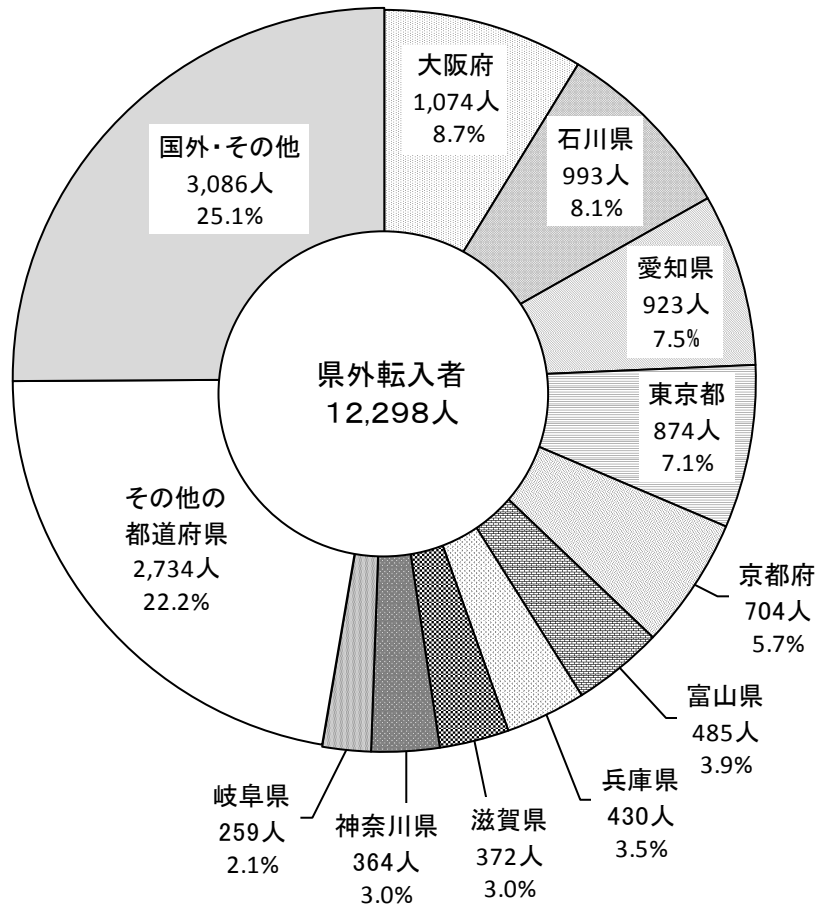


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



2 年齢・男女別人口

(1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、65～69歳が66,403人で最も多く、次いで40～44歳54,692人、60～64歳52,554人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現67～69歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現42～45歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は64～69歳と40～46歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が379,430人、女性が402,802人で、女性が男性より23,372人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は94.2となっている。

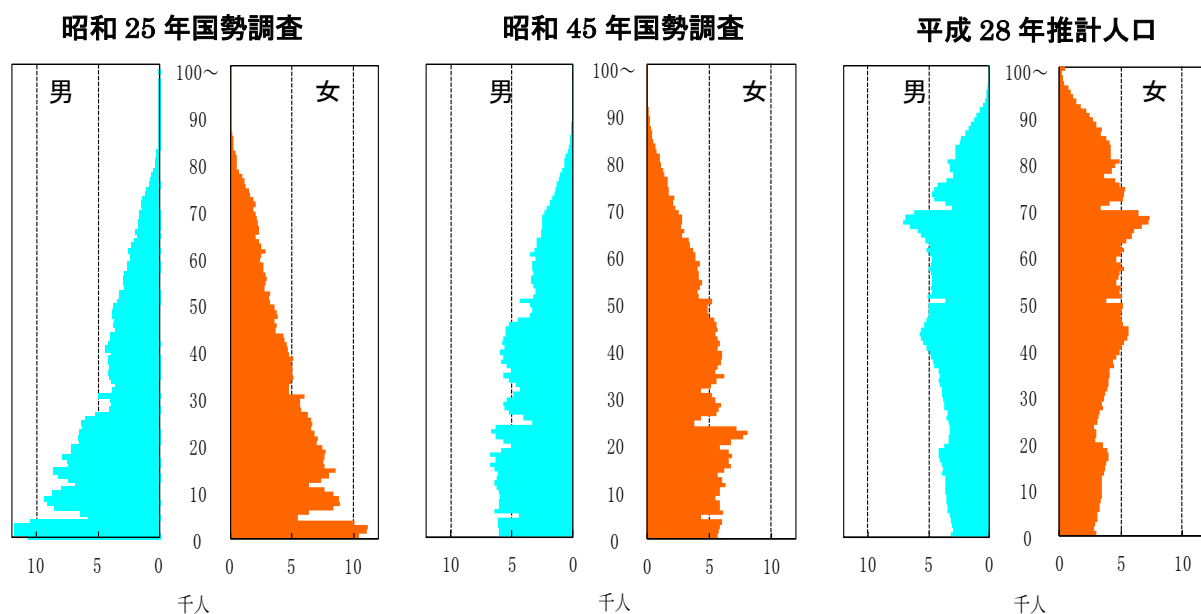
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位:人、%)

年齢	男女計	男	女	性比
0～4	30,671	15,713	14,958	105.0
5～9	34,341	17,611	16,730	105.3
10～14	36,310	18,618	17,692	105.2
15～19	39,311	20,122	19,189	104.9
20～24	31,428	16,625	14,803	112.3
25～29	35,222	18,190	17,032	106.8
30～34	39,908	20,201	19,707	102.5
35～39	45,537	23,116	22,421	103.1
40～44	54,692	27,667	27,025	102.4
45～49	51,100	25,512	25,588	99.7
50～54	46,468	23,016	23,452	98.1
55～59	48,637	24,065	24,572	97.9
60～64	52,554	25,910	26,644	97.2
65～69	66,403	32,679	33,724	96.9
70～74	43,749	20,578	23,171	88.8
75～79	39,147	17,364	21,783	79.7
80～84	35,958	14,415	21,543	66.9
85～89	25,176	8,853	16,323	54.2
90～	15,683	3,740	11,943	31.3
合計	782,232	379,430	402,802	94.2

(注)年齢不詳 男女計9,937人、男5,435人、女4,502人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）



(2) 年齢（3区分）別人口

総人口を年齢3区分別にみると、平成28年の年少人口（0～14歳）は101,322人（13.1%）で、前年に比べて0.2ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）は444,857人（57.6%）で、前年と比べて0.5ポイント減少した。老年人口（65歳以上）は226,116人（29.3%）で、前年と比べて0.7ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）は223.2となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～平成28年）

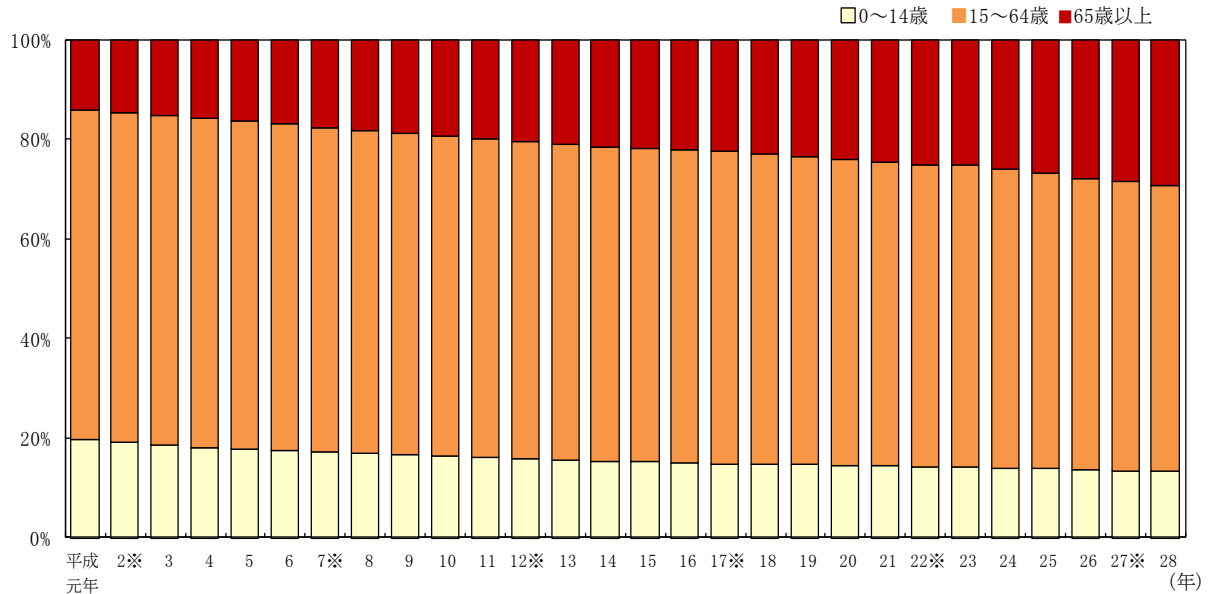


表5 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～平成28年）

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2

(注1) 平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

(注2) 平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

【※は国勢調査年】

3 世帯数 281,612 世帯（平成 28 年 10 月 1 日現在）

福井県の総世帯数は 281,612 世帯で、前年と比べ 1,925 世帯（0.69%）増加した。また、1 世帯当たり人員は 2.78 人で、前年と比べ 0.03 人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図 1 1 世帯数の推移（平成元年～平成 28 年）

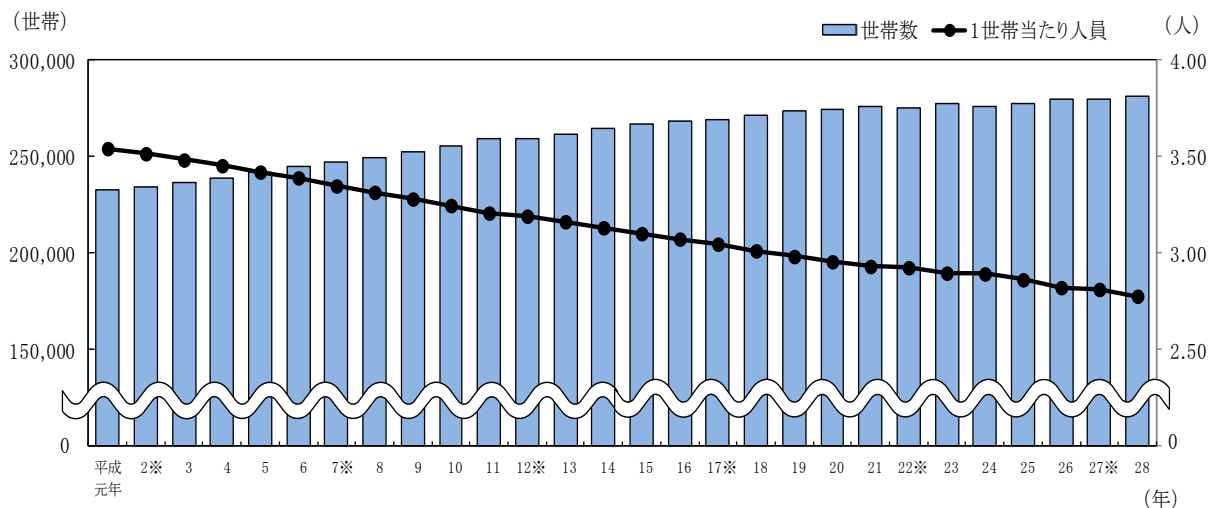


表 6 世帯数の推移（平成元年～平成 28 年）

（単位：世帯、人、%）

区分	世帯数	増加数	増加率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△ 160	△ 0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△ 1,035	△ 0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△ 87	△ 0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78

【※は国勢調査年】

4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 265,246 人で、県全体の 33.9%を占め、次いで坂井市 89,985 人、越前市 80,864 人となっている。

(1) 人口増減

人口が増加したのは鯖江市のみで、他の 16 市町は昨年に比べ人口が減少した。

人口増減率は、鯖江市が 0.22%で最も高く、次いで福井市 Δ 0.25%、坂井市 Δ 0.33%となっている。最も減少率が高いのは池田町の Δ 2.92%で、次いで勝山市 Δ 1.58%、美浜町 Δ 1.56%となっている。

広域圏単位で見ると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の Δ 1.38%で、次いで嶺南 Δ 0.88%となっている。

表 7 地区・市町別人口および増減率

(単位:人、%)

	人口	増減数	増減率
県 計	782,232	Δ 4,508	Δ 0.57
福井地区	284,947	Δ 840	Δ 0.29
福 井 市	265,246	Δ 658	Δ 0.25
永平寺町	19,701	Δ 182	Δ 0.92
坂井地区	118,374	Δ 635	Δ 0.53
あわら市	28,389	Δ 340	Δ 1.18
坂 井 市	89,985	Δ 295	Δ 0.33
奥越地区	56,442	Δ 792	Δ 1.38
大 野 市	32,697	Δ 412	Δ 1.24
勝 山 市	23,745	Δ 380	Δ 1.58
丹南地区	183,780	Δ 1,003	Δ 0.54
鯖 江 市	68,434	150	0.22
越 前 市	80,864	Δ 660	Δ 0.81
池 田 町	2,561	Δ 77	Δ 2.92
南越前町	10,639	Δ 160	Δ 1.48
越 前 町	21,282	Δ 256	Δ 1.19
嶺南地区	138,689	Δ 1,238	Δ 0.88
敦 賀 市	65,776	Δ 389	Δ 0.59
小 浜 市	29,417	Δ 253	Δ 0.85
美 浜 町	9,759	Δ 155	Δ 1.56
高 浜 町	10,520	Δ 76	Δ 0.72
おおい町	8,196	Δ 129	Δ 1.55
若 狭 町	15,021	Δ 236	Δ 1.55

図 1 2 市町別人口増減率 (その 1)

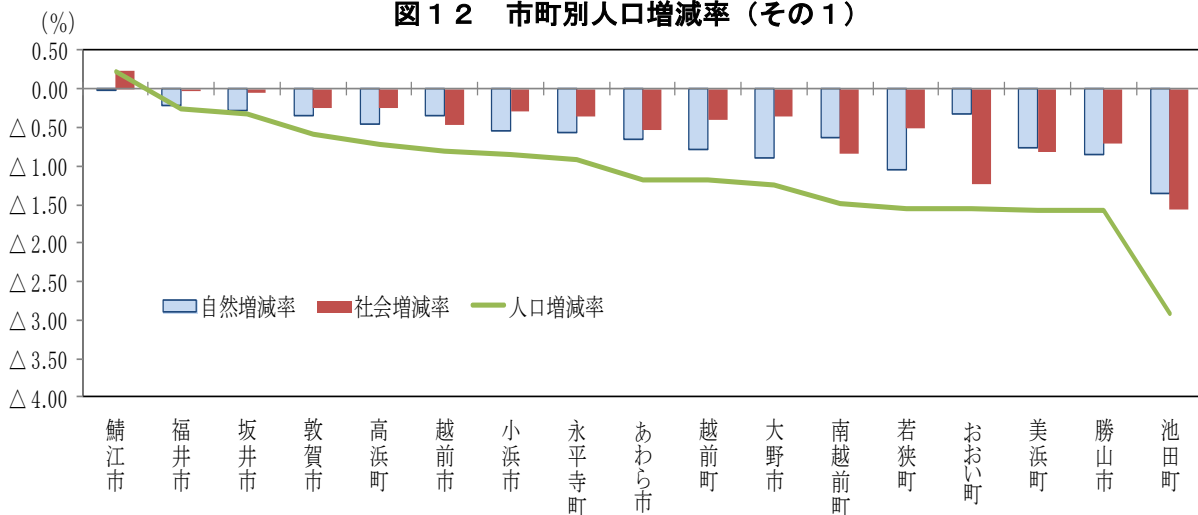
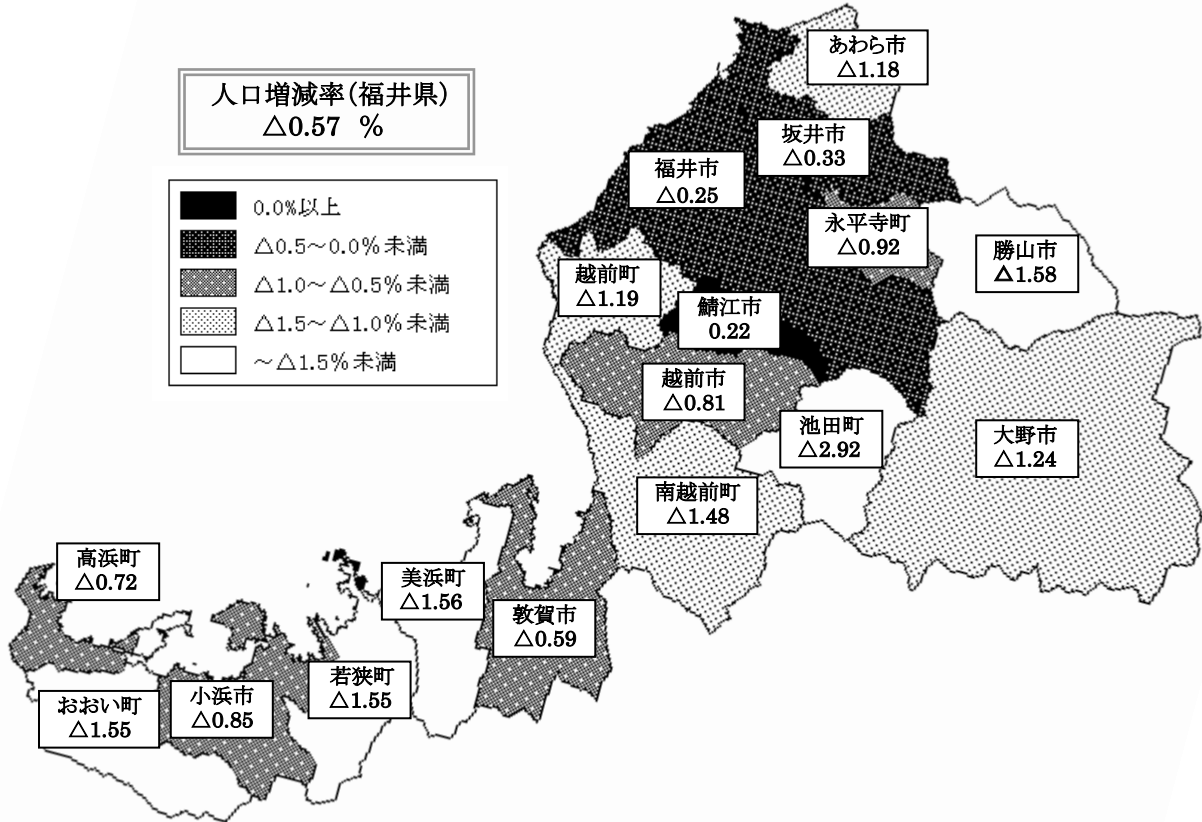


図 1 3 市町別人口増減率（その 2）

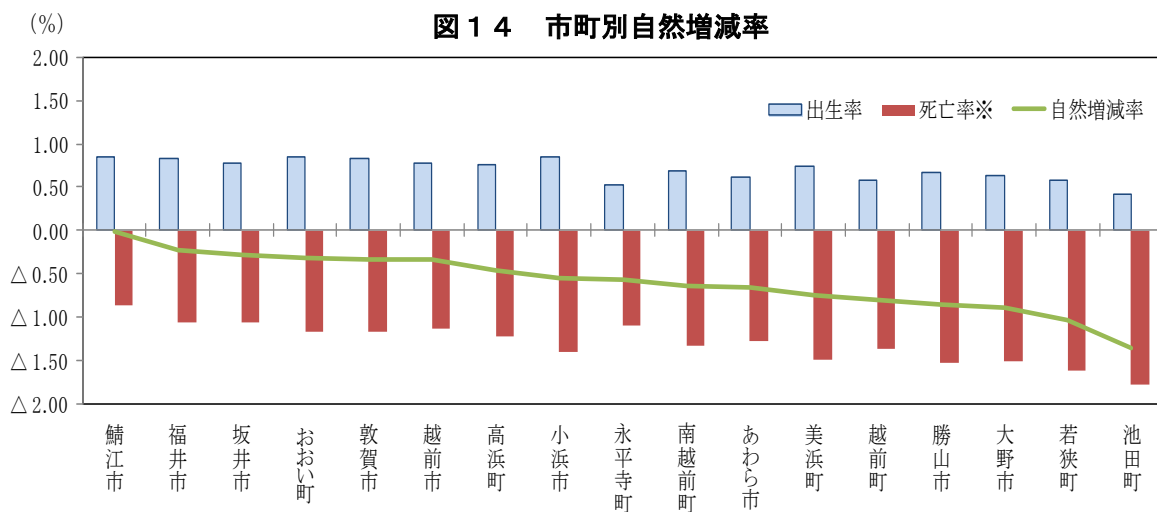


(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の△0.02%で、次いで福井市△0.22%、坂井市△0.28%となっている。最も減少率が高いのは池田町の△1.36%で、次いで若狭町△1.04%、大野市△0.88%となっている。

出生率は、小浜市が0.85%で最も高く、次いで鯖江市0.85%、おおい町0.84%となっている。最も低いのは池田町の0.42%で、次いで永平寺町0.53%、若狭町0.58%となっている。

死亡率は、池田町が1.78%で最も高く、次いで若狭町1.62%、勝山市1.53%となっている。最も低いのは、鯖江市の0.87%で、次いで坂井市1.05%、福井市1.06%となっている。



※死亡率は、人口減少の要因としてマイナスで表記した。

(3) 社会動態

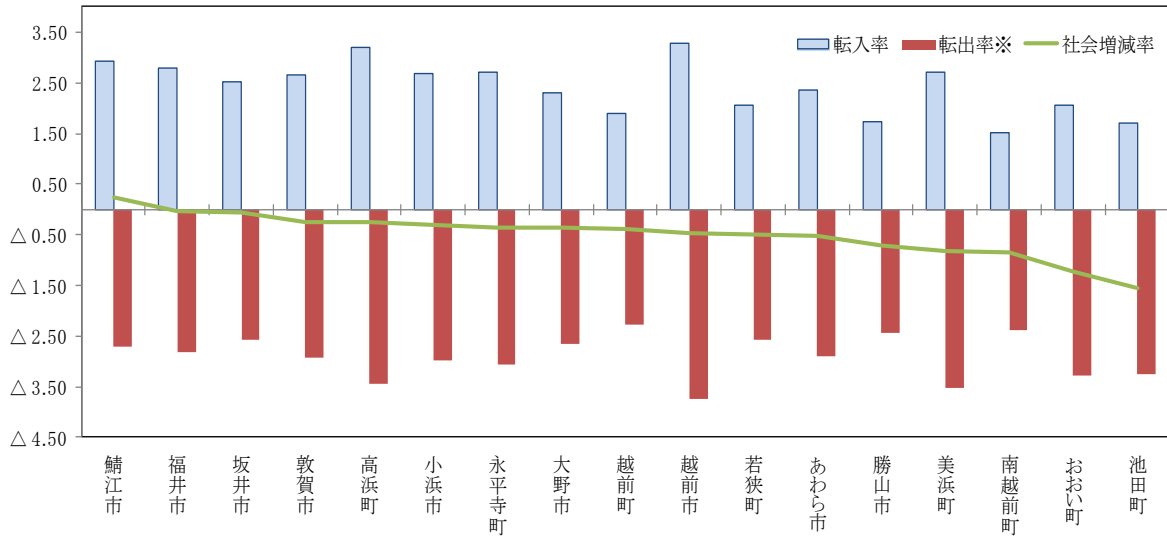
社会増減率がプラス(=転入超過)になったのは鯖江市 0.24%の1市のみとなっており、他の16市町はマイナス(=転出超過)となった。最も低いのは池田町の△1.55%で、次いでおおい町△1.23%、南越前町△0.84%となっている。

転入率は、越前市が3.28%で最も高く、次いで高浜町 3.20%、鯖江市 2.93%となっている。最も低いのは南越前町の1.53%で、次いで池田町 1.71%、勝山市 1.72%となっている。

転出率は、越前市が3.75%で最も高く、次いで美浜町 3.53%、高浜町 3.45%となっている。最も低いのは越前町の2.28%で、次いで南越前町 2.37%、勝山市 2.44%となっている。

(%)

図15 市町別社会増減率

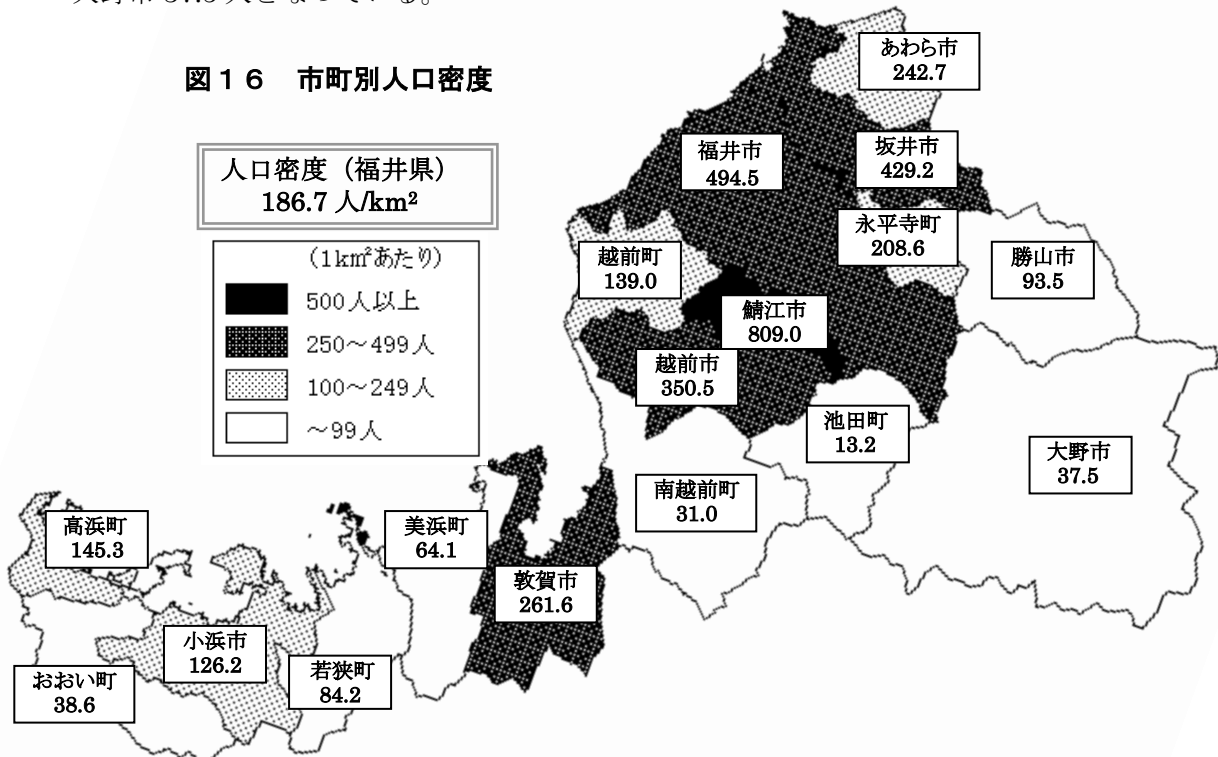


※転出率は、人口減少の要因としてマイナスで表記した。

(4) 人口密度

面積 1k m²当たりの人口密度は、鯖江市が 809.0 人で最も高く、次いで福井市 494.5 人、坂井市 429.2 人となっている。最も低いのは池田町の 13.2 人で、次いで南越前町 31.0 人、大野市 37.5 人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは、鯖江市の14.9%で、次いで坂井市14.0%、おおい町13.9%となっている。最も低いのは、池田町の7.8%で、次いで美浜町10.9%、あわら市11.2%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは、永平寺町の59.7%で、次いで敦賀市、坂井市59.1%となっている。最も低いのは、池田町の48.8%で、次いで南越前町、若狭町52.9%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは、池田町の43.3%で、次いで南越前町34.9%、勝山市34.8%となっている。最も低いのは、鯖江市の26.8%で、次いで坂井市27.0%、敦賀市27.3%となっている。

老年化指数（年少人口に対する老年人口の比率）が最も高いのは、池田町の552.2で、次いで美浜町313.1、大野市305.6となっている。最も低いのは、鯖江市の180.6で、次いで坂井市193.3、敦賀市200.9となっている。

図17 市町別年齢別（3区分）人口の割合

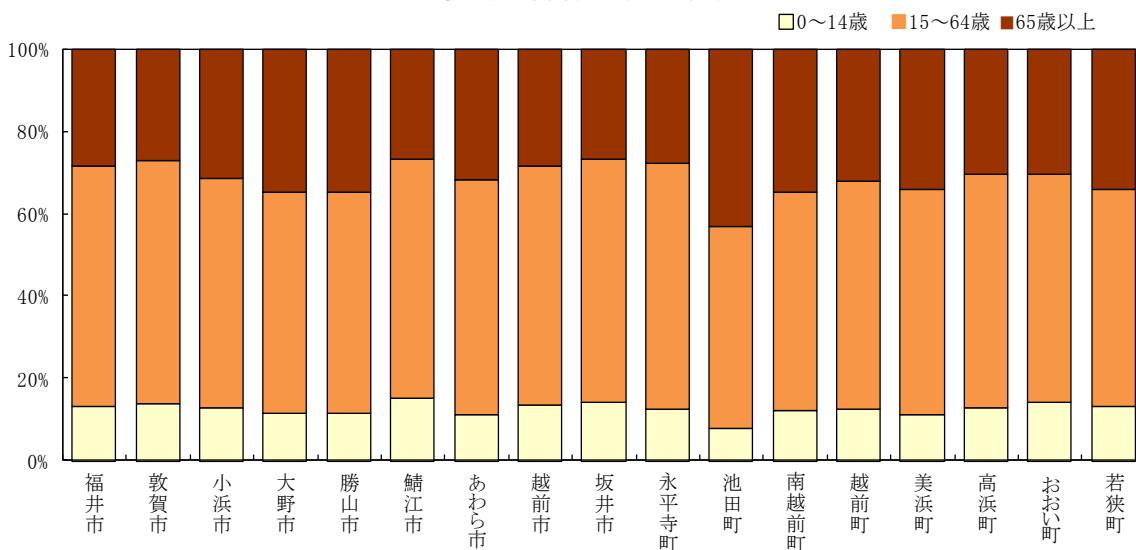
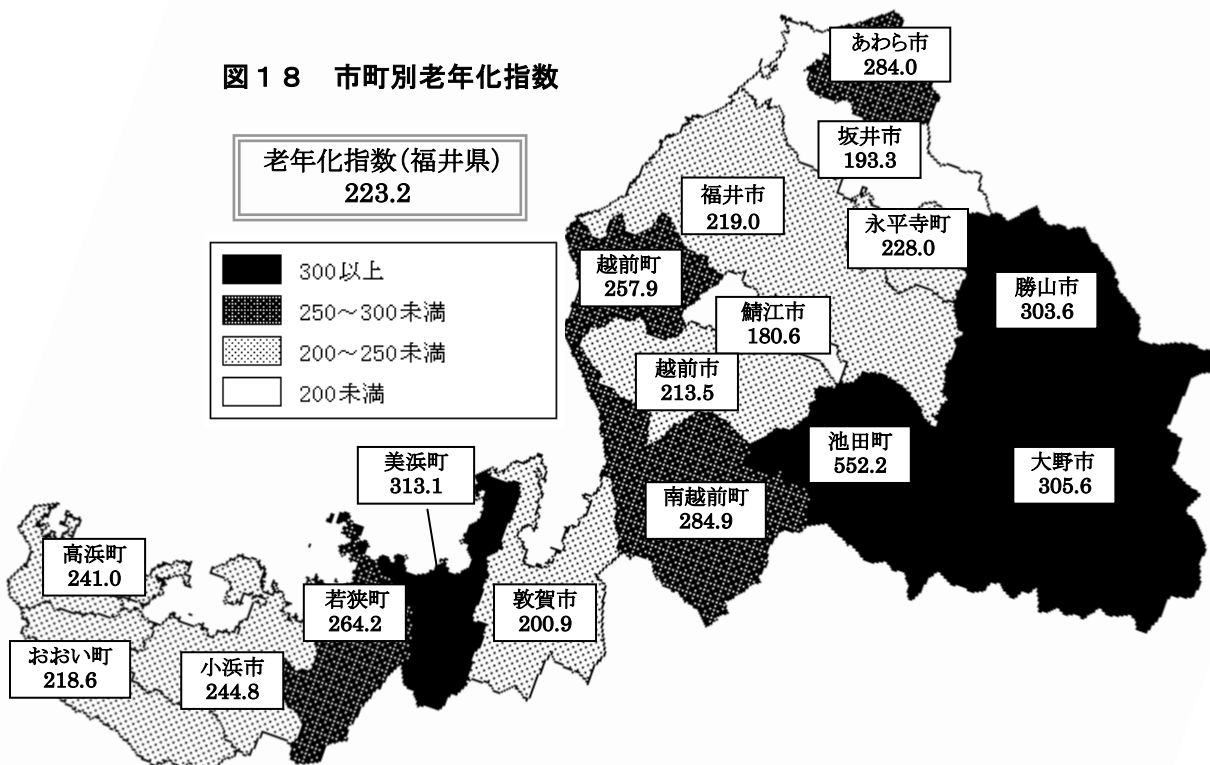


図18 市町別老年化指数



(6) 世帯数

世帯数が最も多かったのは、福井市の 100,930 世帯で、県全体の 35.8%を占め、次いで坂井市 29,731 世帯、越前市 27,966 世帯となっている。

増減率は、鯖江市が 1.80%と最も高く、次いで福井市 1.06%、坂井市 0.94%となっている。最も低いのは、池田町の△1.66%で、次いで勝山市△0.80%、おおい町△0.50%となっている。

1 世帯当たり人員が最も多いのは、越前町の 3.25 人で、次いで南越前町 3.17 人、勝山市 3.11 人となっている。最も少ないのは、敦賀市の 2.47 人で、次いで高浜町 2.49 人、美浜町 2.52 人となっている。

表 8 市町別世帯数

(単位:世帯、%)

	世帯数	増減数	増減率
県 計	281,612	1,925	0.69
福 井 市	100,930	1,058	1.06
敦 賀 市	26,664	119	0.45
小 浜 市	11,260	40	0.36
大 野 市	10,763	65	0.61
勝 山 市	7,641	△ 62	△ 0.80
鯖 江 市	22,738	403	1.80
あ わ ら 市	9,678	△ 19	△ 0.20
越 前 市	27,966	77	0.28
坂 井 市	29,731	277	0.94
永 平 寺 町	7,297	21	0.29
池 田 町	887	△ 15	△ 1.66
南 越 前 町	3,357	4	0.12
越 前 町	6,545	△ 15	△ 0.23
美 浜 町	3,880	△ 19	△ 0.49
高 浜 町	4,220	29	0.69
お お い 町	3,206	△ 16	△ 0.50
若 狭 町	4,849	△ 22	△ 0.45

図 19 市町別 1 世帯当たり人員

